

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 (お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告といたします。
公 告 掲 載 U R L	http://www.poplar-cvs.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に掲載いたします。)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証 券 コ ー ド	7601

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

コミュニケーションツールのご紹介

当社のホームページでも様々な情報を公開しております。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>



ポプラグループモバイルサイトに登録
するとお得なクーポンプレゼント

登録はこちらから

携帯で▼
<http://n.mobion.jp/poplar>
簡単な情報を入力するだけで会員登録いただけます。

第39期 報告書

平成25年3月 1 日から
平成26年2月28日まで



Aシティー店



平成26年5月発行



出店立地の多様化に柔軟に対応し、
小型小売店のシステムサポート企業として、
他チェーンとは同質化しない独自の事業構造を確立してまいります。

経営理念

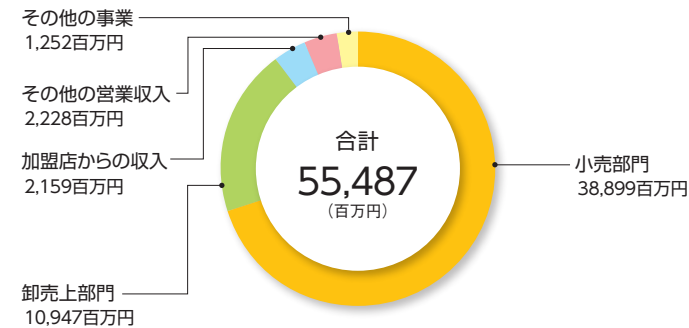
- 1 常に新しい利便性を追求し、お客様に必要とされる企業になる。
- 2 オーナーに信頼され、取引先、株主様に支持される企業になる。
- 3 商業の正道をもって利益を追求する企業になる。
- 4 社員能力の育成をもって企業発展の礎とし、ひとりひとりの生涯設計のできる企業になる。

ポプラグループのストアブランド



ポプラグループは、住宅街やロードサイドなど、郊外立地を中心に展開する「ポプラ」に加え、都市型コンビニエンスストア「生活彩家」、高速道路にゆとりの空間を彩る「ハイウェイ彩家」、関東・関西地方を中心に展開する「くらしハウス」、「スリーエイト」といった複数のブランドを有し、立地・顧客特性に応じた出店でお客様に支持されるコンビニエンスストアチェーンを目指します。

営業総収入の内訳



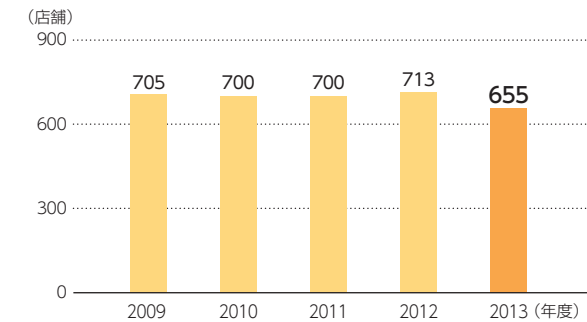
	当期実績 (百万円)	前期比 (%)
小 売 部 門	38,899	100.2
卸 売 上 部 門	10,947	93.4
加盟店からの収入	2,159	92.6
その他の営業収入	2,228	98.0
そ の 他 の 事 業	1,252	99.8
合 計	55,487	98.3

ポプラネットワーク

当社独自の事業骨格である「製販一貫体制」および当社のフランチャイズシステムの特徴である「売上ロイヤリティ制度」の優位性を活かして、病院や大学、ホテル、駅構内や空港などの限定的な商圈や過疎地域等への出店も進めています。

また、当社の商品・運営ノウハウを小型小売店に提供するリテール支援事業についても積極的に展開しています。

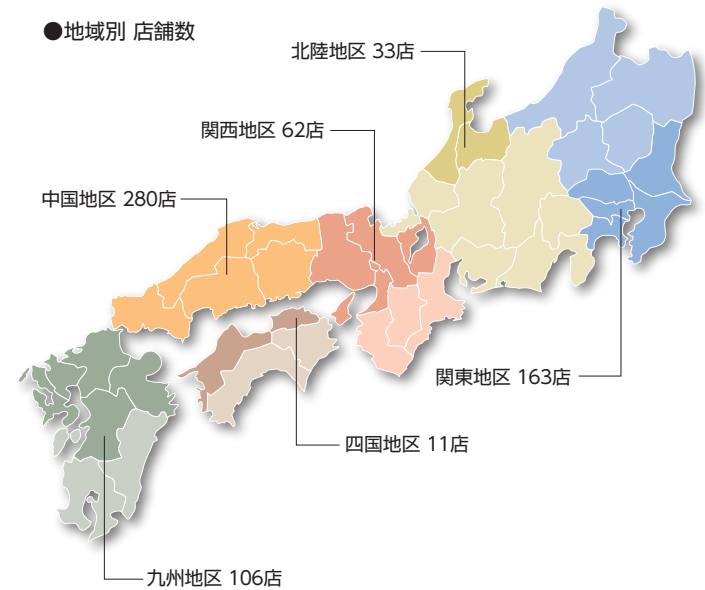
年度別 店舗数の推移



新規出店の状況

出店に関しては、開発体制を強化、法人加盟の開拓を推進し、41店舗の出店を達成しておりますが、消費税増税の影響や競争環境の激化などを見越し不採算店舗の閉店積み増しを実施した結果、閉店は99店舗、期末店舗数は655店舗となりました。

	実績	計画	差異	前期
出 店	41	49	△ 8	42
閉 店	99	61	38	29
期末店舗数	655	701	△ 46	713



下期の新規開設店舗20店舗（上期21店舗）

【ポプラ】
魚津青柳店（富山県）・富山田中町店（富山県）・汐入石黒薬局店（神奈川県）・DPL相模原店（神奈川県）・難波御堂筋ビル店（大阪府）・吉備高原都市パーティズ店（岡山県）・大山八郷店（鳥取県）・大山中山店（鳥取県）・きずき道の駅店（島根県）・安来市役所前店（島根県）・胡通り店（広島県）・博多金の隈店（福岡県）
【生活彩家】
富山国際学園店（富山県）・イムス富士見病院店（埼玉県）・ヒルトピア店（東京都）・アンスリー天下茶屋店（大阪府）・はらべこ店（大阪府）・ツカザキ病院店（兵庫県）・天満屋南岡山医療センター店（岡山県）・マリーナホップ店（広島県）



生活彩家ヒルトピア店（東京都・新宿国際ビルディング）

「温かくおいしい店炊きご飯のポプラ」、 「ちょっとおしゃれな生活彩家」の コンセプトを確立してまいります。

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第39期（平成25年3月1日から平成26年2月28日まで）の報告書をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成26年5月

代表取締役社長 目黒 真司



Q1

当期の業績について 教えてください。

弁当・ベーカリーを中心とする中食の販売力強化により既存店の売上改善がみられたものの、構造改革の一環で取り組んだ不採算店舗の撤退による閉店損失の影響が大きく、チェーン売上高83,210百万円（前連結会計年度比4.1%減）、営業総収入55,487百万円（同1.7%減）、営業損失780百万円（前連結会計年度実績：営業利益211百万円）、経常損失742百万円（同：経常利益249百万円）となりました。

また、神奈川工場等の土地・建物等の売却により

311百万円、不採算店舗の閉鎖等により減損損失1,131百万円、店舗閉店損失195百万円を計上したことに伴い、当期純損失2,300百万円（同：当期純利益5百万円）となりました。

Q2

当期の取り組み施策について 教えてください。

■構造改革の状況

来期以降の利益ある成長軌道に戻すため、当連結会計年度末に不採算店舗の整理、神奈川工場の売却、子会社ドラッグ事業を本体事業へ取り込むなど構造改革

を促進しました。

■業務改革の状況

当連結会計年度から地域一番店の確立を目的に開発した、業務アプリケーションを活用する次世代型営業スタイルの本格運用を直営店にて開始しました。その結果、弁当・ベーカリーを中心とする中食の発注最適化プログラム「中食マックスシークシステム」により、同カテゴリーは前連結会計年度実績を上回る水準を達成しました。また、立地別・客層別の品揃え最適化の仕組み「MDスキャンシステム」によって、営業担当者は個店レベルの売場構成、品揃えの問題をタイムリーに検証できるようになり、加工食品・酒など主力カテゴリーの業績改善を促進しました。さらに、過去の販売実績より売上を予測し、最適な発注数量を算出するプログラム「在庫オプティマイザー」の適用により、先行導入したカテゴリー（たばこ）では平均20%の在庫圧縮と欠品防止を達成しています。

■商品・サービスの状況

商品面では、立地・顧客層に応じたマーチャндаイジングを推進してまいりました。

当社の主力商品の一つである店炊きご飯をその場でつめる「ポップ弁」は、クックラボ社監修による商品開発、広島県の有名菓子専門店バッケンモーツアルト監修によるオリジナルデザート「HITOTEMA（ひとてま）」

シリーズの全国発売、などの取り組みにより、各カテゴリーは前連結会計年度を上回る業績となりました。

売上が好調なFFコーヒーは平成26年2月末までに380店舗へ設置が完了いたしました。

サービス面では、多様化する決済手段への対応として、交通系ICカードのチャージ機能やクレジットカード決済機能の追加を実施、平成25年10月には全店で音楽、アプリ、ショッピング、ゲーム、国際電話等に使えるギフトカード（POSAカード）の販売を開始いたしました。

■設備面

電力マネジメントシステム（BEMS）を約130店舗、店内照明LED化を360店舗で実施、平成26年2月より開始した看板照明の全店LED化とあわせ、環境負荷の軽減と低コスト化を推進いたしました。

Q3

今後の見通しについて 教えてください。

第40期の通期連結業績の見通しといたしましては、営業総収入52,326百万円（当連結会計年度比5.7%減）、営業利益429百万円（当連結会計年度実績：営業損失780百万円）、経常利益419百万円（同：経常損失742百万円）、当期純利益156百万円（同：当期純損失2,300百万円）を見込んでおります。

TOPICS 1 企業情報 ラジオCMに松村邦洋さんを起用

平成26年1月から、当社の広告宣伝にタレントの松村邦洋さんを起用させていただくことになりました。昨年まで当社グループの応援宣伝監督をしていただいた元広島東洋カープ監督の達川光男さんの代行という形で、店内放送CMや広島エリアでのラジオCMで「ポップ弁」をはじめとする当社商品の応援を行っていただいております。



TOPICS 2 企業情報 客層拡大に向けた取り組み



ポプラではこれまで囲い込みができていなかった働く女性をターゲットに、商品開発を進めています。

昨年実施した女性銀行員の方々との Pasta の共同開発に続き、今年は広島女学院大学の学生さんと美容と健康をテーマに共同で商品を開発し、今年4月からは広島・岡山センター管轄エリアの店舗で販売を実施しました。今回の共同開発は Pasta だけでなくとどまらず、パンやサンドウィッチ、デザートのカテゴリーにも対象を広げたことが特徴です。

また、5月からは雑穀やヘルシー食材を使ったおむすびやお弁当の発売を順次行っております。

TOPICS 3 企業情報 ポプラの看板を刷新



平成26年12月でポプラは創業40周年を迎えるにあたり、ブランディングの再構築を進めています。

その一環として、今年2月から順次、店舗看板を新しいCI（コーポレートアイデンティティ）の面板に変更しています。あわせて看板を照らす照明器具や店内照明のLED化を進め、環境負荷の低減を進めています。



TOPICS 4 企業情報 楽天「Rポイントカード」を導入（平成26年秋）

平成26年4月から、関東エリアの生活彩家18店舗で、楽天グループが運営する来店促進サービスアプリ「楽天チェック」を導入しました。「楽天チェック」はお店に立ち寄るだけで楽天スーパーポイントが貯まるサービスで、まだ当社店舗をご利用いただいたことがない楽天会員の皆様が生活彩家の店舗にご来店いただくきっかけになればと考えています。

また、秋には楽天(株)がスタートさせる楽天スーパーポイントの共通ポイント事業に参加いたします。当社店舗を含む全国約1万3,400店の実店舗において、楽天(株)と加盟店が新たに発行する共通ポイントカード「Rポイントカード」を使って楽天スーパーポイントを貯めたり、支払いをしたりできるようになります。

ネットとリアル店舗の連携により、約9,000万人とも言われる楽天会員との大きな相乗効果が期待されます。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

科 目	第39期 平成26年2月28日現在	第38期 平成25年2月28日現在
【資産の部】		
流動資産		
現金及び預金	2,301	2,356
受取手形及び売掛金	198	203
商品及び製品	1,333	1,390
原材料及び貯蔵品	20	22
その他	1,687	1,772
貸倒引当金	△ 8	△ 8
流動資産合計	5,534	5,737
固定資産		
有形固定資産		
自社有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,228	1,780
土地	2,461	3,002
その他（純額）	1,592	1,778
自社有形固定資産合計	5,282	6,562
貸与有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,165	1,561
土地	400	698
その他（純額）	91	109
貸与有形固定資産合計	1,657	2,369
有形固定資産合計	6,940	8,932
無形固定資産	837	820
投資その他の資産		
敷金・保証金	2,805	3,026
その他	781	690
貸倒引当金	△ 80	△ 89
投資その他の資産合計	3,507	3,627
固定資産合計	11,284	13,380
資産合計	16,818	19,118

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

科 目	第39期 平成26年2月28日現在	第38期 平成25年2月28日現在
【負債の部】		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,620	2,653
加盟店買掛金	921	1,053
預り金	1,394	1,442
未払法人税等	115	122
賞与引当金	81	44
その他	2,005	1,497
流動負債合計	7,138	6,814
固定負債		
リース債務	1,266	1,401
退職給付引当金	363	293
長期預り金	1,705	1,872
資産除去債務	1,028	1,112
その他	595	573
固定負債合計	4,959	5,252
負債合計	12,098	12,067
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,649	2,650
利益剰余金	△ 487	2,002
自己株式	△ 0	△ 92
株主資本合計	4,571	6,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149	79
その他の包括利益累計額合計	149	79
純資産合計	4,720	7,050
負債純資産合計	16,818	19,118

POINT
2

POINT
1

固定資産

固定資産の減少は主に神奈川工場等の土地・建物等の売却および不採算店舗の閉鎖等によるものです。

POINT
2

自己株式

平成26年1月31日付で自己株式134,196株を消却いたしました。

POINT
3

売上高

売上高の内訳は、当社直営店舗の小売売上高38,899百万円、フランチャイズ加盟店に対する卸売上高10,947百万円、その他の事業1,252百万円であります。小売売上高については直営店舗数の増加などの影響により前連結会計年度比0.2%の増加、卸売上高については消費の低迷などの影響により同6.6%の減少となりました。

POINT
4

営業利益・経常利益

営業総収入は前連結会計年度比1.7%減の55,487百万円であったものの、直営店舗数増加による経費増および不採算店舗の整理に伴う閉店損失の影響を補えず、営業損失780百万円、経常損失742百万円となりました。

POINT
5

当期純利益

特別損失として、神奈川工場等の土地・建物等の売却により311百万円、不採算店舗の閉鎖等により1,131百万円の減損損失を計上したため、当期純損失2,300百万円となりました。

POINT
6

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローの増加は主に単純営業CF（純利益+減価償却費+減損損失）の合計が前連結会計年度比866百万円減少の186百万円であったこと、その他非資金費用（賞与引当、退職引当他）の増加額が367百万円であったことによるものです。投資活動によるキャッシュ・フローの増加は主に神奈川工場等の土地・建物等の売却による収入846百万円が店舗に係る固定資産の取得による支出795百万円を上回ったことによるものです。財務活動によるキャッシュ・フローの減少は主に第4次情報システムの導入等によるリース・割賦財務の支払いが増加していることによるものです。

財務情報の開示について

詳細な財務情報については、当社ホームページの「IR情報」にて開示しております。
下記のURLからご参照ください。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/ir/>

連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	第39期 平成25年3月 1 日から 平成26年2月28日まで	第38期 平成24年3月 1 日から 平成25年2月28日まで
売上高	51,099	51,814
営業収入	4,388	4,606
売上原価	39,990	40,678
営業総利益	15,497	15,742
販売費及び一般管理費	16,277	15,530
営業利益（△損失）	△ 780	211
営業外収益	92	81
営業外費用	54	43
経常利益（△損失）	△ 742	249
特別利益	218	108
特別損失	1,725	184
税金等調整前当期純利益（△損失）	△ 2,249	173
法人税、住民税及び事業税	99	103
法人税等調整額	△ 49	64
少数株主損益調整前当期純利益（△損失）	△ 2,300	5
当期純利益（△損失）	△ 2,300	5

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科 目	第39期 平成25年3月 1 日から 平成26年2月28日まで	第38期 平成24年3月 1 日から 平成25年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	489	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	39	△ 368
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 584	△ 403
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	△ 55	△ 736
現金及び現金同等物の期首残高	2,356	3,093
現金及び現金同等物の期末残高	2,301	2,356

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



会社概要

(平成26年2月28日現在)

社名	株式会社ポプラ
本社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資本金	24億1,013万7,725円
設立	昭和51年（1976年）4月20日
チェーン店舗数	655店舗
従業員数	598名
事業内容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

株式の状況

(平成26年2月28日現在)

発行可能株式総数	36,160,072株
発行済株式の総数	9,905,822株
(注) 平成26年1月31日付で実施した自己株式の消却により、前事業年度末と比べて134,196株減少しております。	
株主数	9,902名
第39期中間期末に比べ875名増加しました。	

大株主（上位10名）

(平成26年2月28日現在)

株主名	持株数	持株比率
目黒 俊治	2,708,044 株	27.33 %
ポプラ協栄会	1,716,409	17.32
ポプラ社員持株会	311,931	3.14
株式会社広島銀行	212,960	2.14
日本生命保険相互会社	186,760	1.88
三菱食品株式会社	174,655	1.76
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
東京海上日動火災保険株式会社	138,620	1.39
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34
株式会社目黒	126,100	1.27

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

主な子会社

(平成26年2月28日現在)

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
株式会社キリン堂薬局	12,000	100	ドラッグストア事業
ポプラ保険サービス 有限公司	3,000	(注)100 (73.3)	保険代理店事業

(注) 出資比率には、間接所有分（ ）を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.6%、大黒屋食品株式会社36.7%、株式会社キリン堂薬局36.7%となっております。

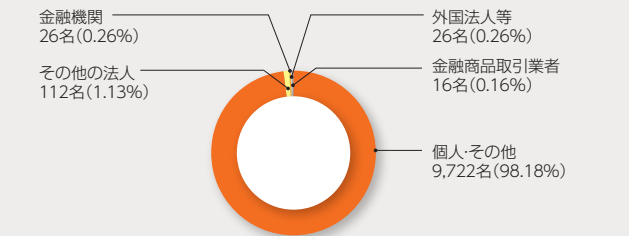
役員

(平成26年5月22日現在)

代表取締役会長	目黒 俊治	常 勤 監 査 役	宮崎 進
代表取締役社長	目黒 真司	社 外 監 査 役	白田 耕造
取締役副社長	中間 昭登	社 外 監 査 役	大野 勝美
取 締 役	野村 一雄		
取 締 役	市村 英世		

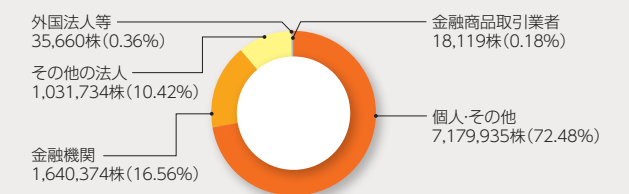
所有者別株主分布状況

(平成26年2月28日現在)



所有者別株式分布状況

(平成26年2月28日現在)



VOL.3

新形態店舗のご紹介

ポプラグループではこれまで、郊外立地や都市部などの従来型のコンビニ出店のほか、病院や大学、ホテル、駅構内などの特殊立地への出店を進めてきましたが、当連結会計年度はこれに加えて、従来のコンビニフォーマットに限定しないそれぞれの立地や商圈に最適な形態での出店戦略を推進しています。

例えば、スーパーやお土産専門店など、他業態の既存店舗にコンビニ機能を融合あるいは併設することで既存店舗の利便性を向上させて集客を伸ばすなどの取り組みを進めています。当社のCVSシステムは様々な小売業態との融合店舗についても一元管理できるよう設計されており、コンビニ商材やサービスの提供はもちろん、導入によるオペレーションの簡素化・コストの削減が可能となる利点などを活かして小型小売店のシステムサポー

出店日・併設日	店舗名	店舗形態・併設店の状況
2013年10月	生活彩家 マリーナホップ店（広島県）	大型ショッピングモールのお土産専門店 やまだ屋」に併設した店舗です。
2013年11月	ポプラ 吉備高原都市パーティス店(岡山県)	地域スーパーとの融合店舗。生鮮三品やお惣菜などの加工食品も豊富に取り揃えています。
2013年12月	ポプラ 廿日市木材港店(広島県)	既存のポプラに100円均一コーナーを併設しています。
2014年 2 月	ザグザグ 坂店(広島県)	同店ほか2店舗を広島県と島根県にオープン。それぞれポプラの店舗に併設しています。
2014年 2 月	ポプラ 舟入南店(広島県)	既存のポプラにおしゃれな雑貨屋さんを併設しています。
2014年 2 月	ポプラ 大山中山店(鳥取県)	Aコープ中山店をポプラとしてリニューアル。100円ショップやコインランドリーなども併設しています。
2014年 5 月（予定）	ポプラ ここと島田店(山口県)	生活協同組合コープやまぐち様が運営するミニスーパー。当社のCVSシステムを導入しています。

ト企業としての事業拡大を進めています。

また、これとは逆に、ポプラや生活彩家の店舗に100円ショップやちょっとおしゃれな雑貨屋さんを併設させたり、平成26年2月には岡山県を中心に展開するドラッグストアチェーン「ザグザグ」に当社が加盟する形で「ザグザグ坂店（広島県）」など3店舗をそれぞれポプラの隣接地へオープンさせました。また、5月にはアーランドサービス(株)が展開するとんかつ専門店「かつや」店舗をオープンさせる予定です。

ポプラグループでは今後も、その立地や商圈に最適な形態を追求しながら、新たな機能を取り入れ、既存の店舗と組み合わせたり、あるいは閉店店舗の業態転換として積極的に活用してまいります。



ポプラ 大山中山店（鳥取県）



ポプラ 舟入南店（広島県）



生活彩家 マリーナホップ店（広島県）



ザグザグ 坂店（広島県）